

JR綾部駅より東へ約30km離れた福井県境の山間地に住み、猪、鹿に悩まされている地域です。22年前、親の交通事故をきっかけにすべてを引き継ぎました。

1週間に3日しか家にいない長距離運転手の夫、子育て真っ最中の私。JAさんから声をかけられた農作業オペレーター、子どもと一緒にできるだろうと思ったのが繁殖牛です。幸い親類に建築設計士がいましたので、設計をお願いし、夫が勤めの合間に古材を使って建てた手作り牛舎で繁殖牛2頭から始めました。

夫は運転手の仕事へ、私は母、主人代行となり、地域の役目にも出てきました。今思うと若さでがんばれたのだと思います。そして私の人生を変えたのは、京都府の女性農業士の認定を受けて農村女性と非農家の女性9人で始めた「ハッスルかあちゃんの会」です。農業の大切さと楽しさを次世代を担う子どもたちに伝承する活動、行政より農村女性の地位向上と勉強の場を与えていただいたことなど、人生の財産となりました。

息子も平成6年に結婚し、私も姑の立場になりました。姑と孫

5人あわせた10人の大家族も私の財産で、みんなで楽しく暮らすのも人生だとほほ笑んでいます。

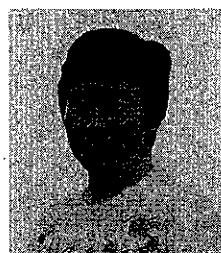
昨年定年になった夫は、自分で立てた牛舎を楽しい牛飼いにしたいと大改造しました。少しずつ頭数を増やそうとがんばっている夫に責任を譲りました。

社会に出たことで自分の仕事に誇りと夢を持てるようになりました。5年前、40aの水田放牧に取り組み、周りに花を植えました。

家の前が放牧場で、府道を通る若者や親子が車を止めて牛を眺めたり、一緒に写真を撮ったりしている光景を見ていて、田舎の自然を満喫し、おいしいものを食べる場を作り、お嫁さんと私に小遣いが入れば、なお楽しい農業になると夢見ています。

もう1つの夢は、高齢化率56%のこの地域を放牧ゾーンにし、高齢者との関わりを深めたものにし、荒廃地の解消と畜産の繁栄を両立させることです。

夢の実現に向けてがんばり、楽しい農業を息子夫婦に引き継ぎたいと願っている今の私です。



私の牛飼いと夢

京都府綾部市

杉本

好美

<経営の概要>

牧場（経営）名：—

畜種・経営類型：肉用牛繁殖経営

飼養頭羽数：8頭（繁殖成雌牛）

労働力員数：2人

経営地面積：牛舎42a（うち放牧場40a）、
水田250a、畑15a



周りを花で飾った水田放牧に取り組む杉本さん